

(9) 近所との助け合い

支援が必要な人

階段当番に事情を説明しておく。

お年寄り、乳幼児、肢体不自由、要援護者、
その他

防災訓練への参加

いざというとき落ち着いて行動できるように、
日頃から慣れておきましょう。

- ★地震が起きたときの避難などの場合、同じ階段室に住む人同士で、お互いに助け合うようになることが多いでしょう。階段室が一つの単位になるわけです。また、ベランダ伝いに避難することがあるので、左右のお宅とも知り合っておく必要があります。
- ★自治会では、それぞれの階段室ごとに「階段当番」を設けています。
(1号館、2号館は、全体で一人)。お年寄りや乳幼児がいて、避難をするときなど、誰かの助けが必要と考えられるなら、この「階段当番」の人が、自治会費の集金に回ってきたときなどに、事情を話しておいてください。自治会に入っていない人も、どうかご遠慮なく伝えておいてください。
- ★支援を必要とする人の部屋がどこかがあらかじめ分かっているれば、救援に向かう人はすばやく行動できます。
- ★毎年1回行われる防災訓練には、都合がつくかぎり参加しましょう。
- ★知っていることと、できることとは違います。階段室を通っての避難、消火器を使っただけの消火、実際にやってみた経験があれば、いざというときに落ち着いて行動できるでしょう。